

RasterLink ジョブマネージメントサービス

RasterLink8 ジョブ管理 Web リファレンスガイド

目次

この説明書について	4
本文中の表記について	4
マークについて	4
本書および関連説明書の入手方法	4
ご注意	5

第1章 はじめに

1.1 ジョブ管理Webシステムとは	8
1.2 アクセスとログイン	9

第2章 主な機能

2.1 ジョブ一覧	12
ジョブリスト	12
フィルターと列設定	13
この画面から出力を指示する	13
ジョブ一覧をテキストファイルとしてダウンロードする	14
2.2 出力履歴	15
履歴リスト	15
フィルターと列設定	16
履歴の集計内容を確認する	16
2.3 スケジュール	18
スケジュール画面	18
スケジュール編集画面	19
自動実行する	20
QRコードを使ってスケジュールを手動実行する	21
ユーザージョブIDをQRコード化し、スキャンして実行する	24
スケジュール・実行のオプション	25
2.4 デバイス確認	26
ブラウザでの表示	26
デバイス管理	27

第3章 その他の機能

3.1 チャットサービスに通知する	30
対応サービス	30
Webhook URLを発行する	30
システムに取得したWebhook URLを設定する	31
3.2 テキストデータを定期的にサーバーに保存する	32
保存できるデータと保存先	32
設定	33
3.3 オプション	34
表示の切り替え	34

3.4 ユーザーアカウント	36
ユーザーアカウントの追加.....	36
アカウントの削除	38
パスワードの変更	38
3.5 Mimaki Cloud Technology PICTと連携する	41
PICTアカウントでログイン.....	41
PICT Upとクライアントツールを同じPCにインストールし、連携させる	41
PICT連携 こんなときには.....	42
3.6 各機能のリミット値	43

第4章 こんなときは

4.1 トラブルシューティング	46
表示.....	46
ジョブの実行	47
スケジュール	47
データダウンロード	47

この説明書について

本文中の表記について

- 画面に表示されるボタンや項目は、[OK]、[ファイルを開く]のように[]で囲っています。

マークについて

内容		
	重要	「重要」マークは、本ツールをお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	ヒント	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

本書および関連説明書の入手方法

本書および関連する説明書の最新版は、以下の方法で提供しています。

- 弊社公式サイト（<https://japan.mimaki.com/download/software.html>）

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複製したりすることは固くお断りします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更などにより、仕様面において本書の記載事項が一部異なる場合があります。
- 本書に記載している株式会社ミマキエンジニアリング製ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行したりする以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してのメディア（ワーク）などの損失、メディアを使用して作成された物によって生じた、間接的な損失などの責任負担もしないものとします。

RasterLinkは株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国ならびにその他の国での登録商標、または商標です。その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

第1章 はじめに



この章では...

ジョブ管理Webシステムの概要について説明します。

1.1 ジョブ管理Webシステムとは

ジョブ管理Webシステムは、RasterLink8のジョブをWebブラウザで管理するシステムです。次の機能があります。

- Webブラウザ上で、社内のRasterLink8群を管理します。
 - 自席で、現場のRasterLink8の状況を確認します。
 - Webブラウザから出力を指示します。
- Webブラウザ上で、グラフィカルにスケジューリングします。
 - デバイスごとに、出力するジョブをスケジューリングします。
 - 予定と実績を同時に表示し、実行漏れを確認できます。
 - スケジュールを自動実行します。
 - スケジュール一覧をPDF化し、記載のQRコードをスキャンして実行します。
- 通知機能とログ機能
 - 出力の開始、終了、エラーをチャットサービスに通知します。
 - テキストファイルに印刷結果などを定期的に保存します。

1.2 アクセスとログイン

ジョブ管理Webサイトへアクセスしてログインする手順を説明します。



- ジョブ管理Webシステムを使用するためには、アカウントが必要です。
- アカウントの追加方法は、「セットアップガイド」を確認してください。

Webブラウザを起動し、アドレスバーに以下のいずれかのURLを入力します。

- PC名でアクセスする
http://(サーバーPCのPC名):7163
例：PC名が[aaa]であればhttp://aaa:7163
- IPアドレスでアクセスする
http://(サーバーPCのIPアドレス):7163
例：IPアドレスが192.0.2.10ならhttp:// 192.0.2.10:7163

アクセスするとログイン画面が表示されます。IDとパスワードを入力してログインします。

第2章 主な機能



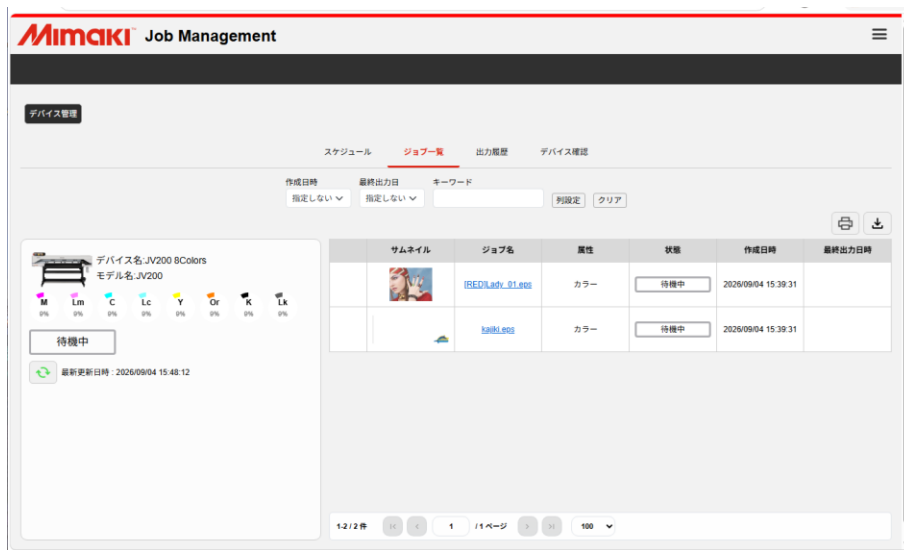
この章では...

ジョブ管理Webの主な機能を説明します。

ジョブ一覧.....	12	スケジュール.....	18
ジョブリスト.....	12	スケジュール画面	18
フィルターと列設定.....	13	スケジュール編集画面	19
この画面から出力を指示する	13	自動実行する	20
ジョブ一覧をテキストファイルとしてダウンロードする	14	QRコードを使ってスケジュールを手動実行する	21
出力履歴	15	ユーザージョブIDをQRコード化し、スキャンして実行する	24
履歴リスト	15	スケジュール・実行のオプション	25
フィルターと列設定.....	16	デバイス確認.....	26
履歴の集計内容を確認する	16	ブラウザでの表示	26
		デバイス管理	27

2.1 ジョブ一覧

ネットワーク上のRasterLink8のジョブ情報を、デバイスごとにリスト表示します。



ジョブリスト

- ジョブは、面付けや合成などのグループ単位で1つ表示されます。
- グループ化したジョブの場合、先頭に[+]が表示されます。クリックすると、グループ化したジョブのレイアウト設定が表示されます。



- [サムネイル]は、RasterLink8でジョブを作成したときのメディア幅を基準に、レイアウトした状態を表示します。
- 各ジョブの[ジョブ名]をクリックすると、詳細が表示されます。
 - フラットベッド機で出力が複数盤面になる場合は、プレビュー下のページ送りボタンを使って、盤面ごとのプレビューを確認できます。



- [状態]は、RasterLink8での現在の状態を表示します。
- [作成日時]は、RasterLink8でそのジョブが作成された日時を表示します。
- [最終出力日時]は、最後に出力が完了した日時を表示します。

フィルターと列設定

ジョブリストの表示を変更します。

作成日、最終出力日、キーワード（対象：ジョブ名、ID）で、ジョブリストをフィルタリング表示します。

- すべてのデバイスに適用されます。
- [クリア]をクリックすると、条件がクリアされます。

[列設定]をクリックすると、リストの列を編集できます。

この画面から出力を指示する

この画面から、ジョブの出力を指示できます。



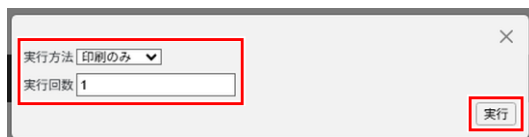
- 実行前に、対象のデバイスと、登録されているRasterLink8を起動してください。

1 出力するジョブを選択します。

サムネイル	ジョブ名	属性	状態	作成日時	最終出力日
	10000000_01.jpg	カラー	待機中	2025/09/04 15:39:31	
	10000000_02.jpg	カラー	待機中	2025/09/04 15:39:31	

2 各デバイスのジョブリストの右上にある （印刷）アイコンをクリックします。

- 3 実行方法と実行回数を指定して、[実行]をクリックします。指定した実行方法で、RasterLink8へ実行指示が送信されます。



重要! 現在処理しているジョブの終了を待ってから実行してください。

- 実行指示したジョブが RasterLink8 で実行中の場合、Web画面上では指示が成功したと表示されますが、対象の RasterLink8で「実行中のジョブに対して操作できません」とメッセージが表示され、処理は実行されないことがあります。

ジョブ一覧をテキストファイルとしてダウンロードする

ジョブ一覧の情報を、テキストファイルとしてダウンロードできます。

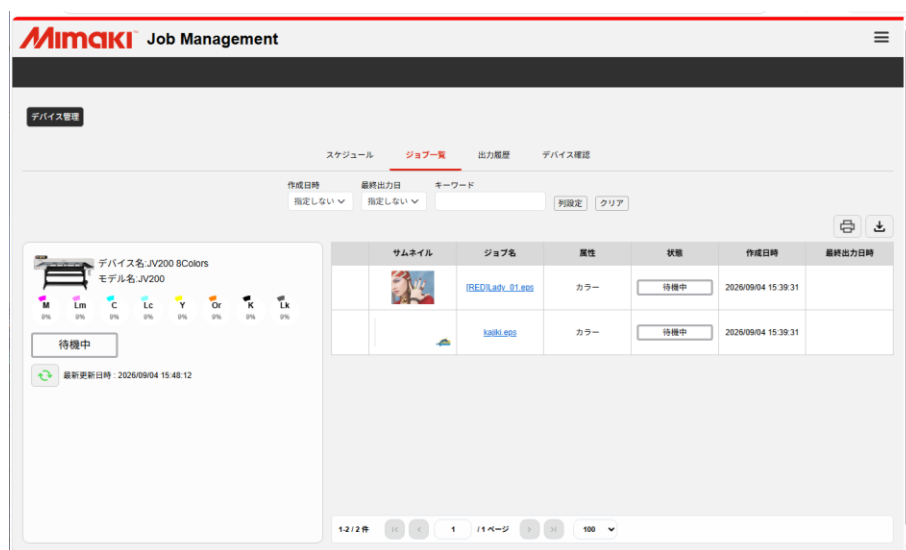


- フィルターの設定が適用されます。
- デバイス毎に操作します。

- 1 各デバイスのジョブリストの右上にある[- 2 ファイルがダウンロードされます。

2.2 出力履歴

デバイスごとに、出力したジョブをリスト表示します。



履歴リスト



- [ジョブ名]をクリックすると、詳細が表示されます。
- インク消費量の[カラー毎]をクリックすると、そのジョブが消費したインク量が色別に表示されます。



- [状態]は、そのジョブの出力結果です。
- [サイズ]は、グループ化した単位でのサイズです。
- [開始日時]と[終了日時]は、そのデバイスで印刷を開始・終了した日時です。（RasterLink8のRIP開始時間とは異なります。）

フィルターと列設定

ジョブリストの表示を変更します。

- 出力日（開始または終了）、キーワード（対象：ジョブ名、ID）で、ジョブリストをフィルタリング表示します。（すべてのデバイスに適用されます。）
- [クリア]をクリックすると、条件がクリアされます。
- [列設定]をクリックすると、リストの列を編集できます。

履歴の集計内容を確認する

デバイスごとのリスト上にある[集計]アイコンをクリックすると、集計結果画面に切り替わります。

- インク消費量、メディア消費量、処理時間、実行回数をグラフで表示します。
- 期間と、終了時の状態でフィルタリング表示します。
- [ダウンロード]アイコンをクリックすると、結果をテキストファイルとしてダウンロードできます。

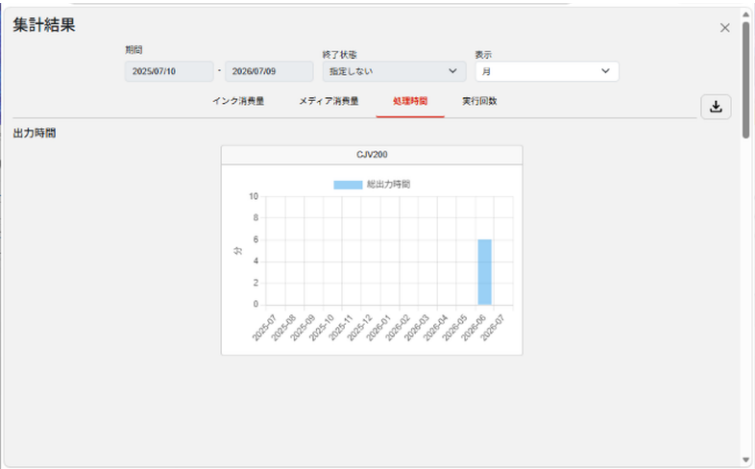
インク消費量



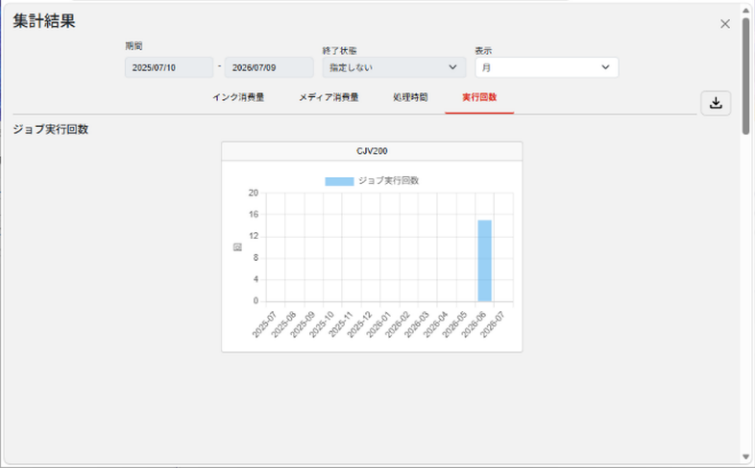
メディア消費量



処理時間



実行回数



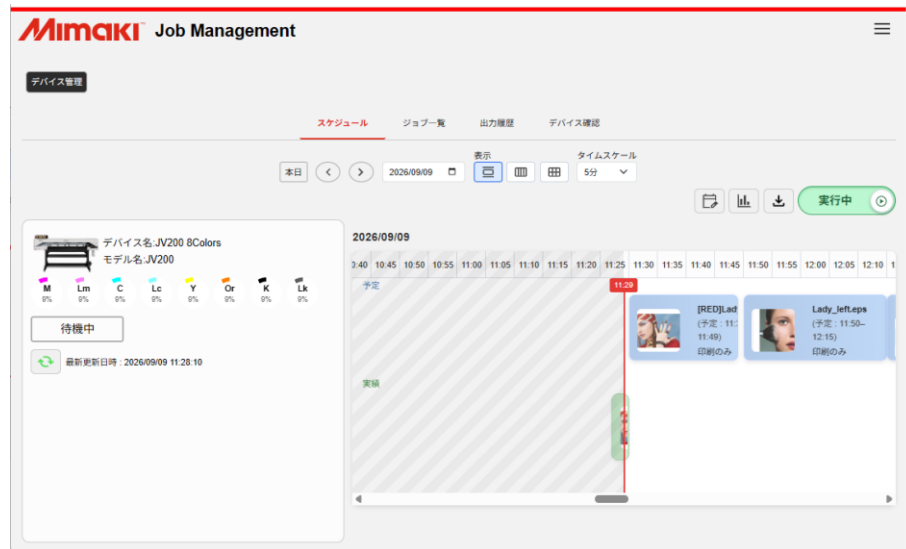
2.3 スケジュール

デバイスごとに、スケジュールを立てることができます。

スケジュール画面

作成したスケジュールと、実際に実行されたジョブをデバイスごとに表示します。

作成したスケジュールを上段に、実績を下段に表示します。



画像の上にマウスカーソルを置くと、以下を表示します。

- スケジュールの場合：ジョブ名、予定時刻
- 実績の場合：ジョブ名、実際の印刷時間

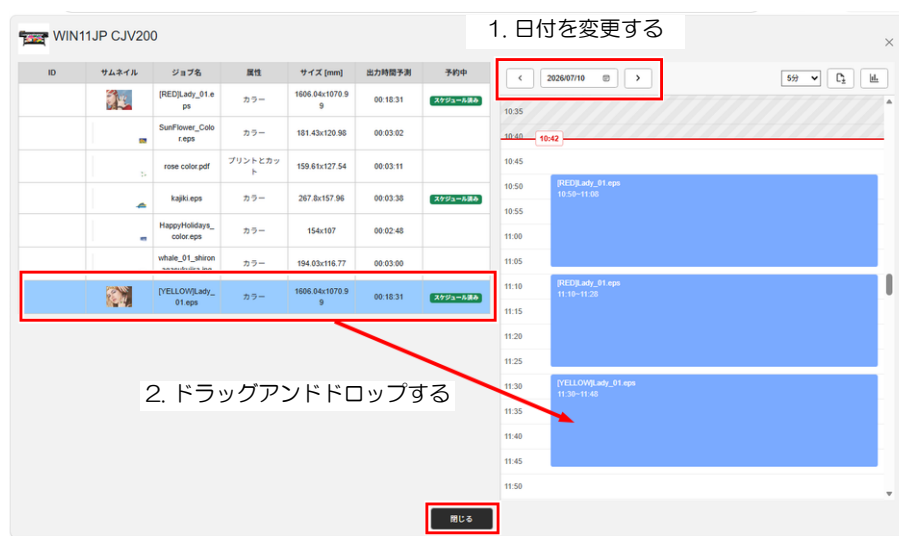


スケジュール編集画面

スケジュールは、デバイスごとに作成します。スケジュール画面で、各デバイスの右上にある（スケジュール編集）アイコンをクリックすると、編集画面が表示されます。

スケジュールを立てる

- 1 画面左のタイムライン上にある日付表示を、スケジュールを立てる日に変更します。
- 2 画面左のジョブ一覧から印刷したいジョブを選択し、印刷を開始したい時間の上へドラッグアンドドロップします。
- 3 印刷するジョブの数だけ、手順2を繰り返します。
- 4 設定が終了したら、[閉じる]をクリックし、スケジュール画面に戻ります。



重要!

- ・ 終了時間は予測値です。印刷中のクリーニングや、デバイス本体の設定により、実際の時間とは前後します。

スケジュールに追加したジョブの編集と削除

タイムライン上のジョブをクリックすると、そのジョブのスケジュール詳細画面が表示されます。次の操作を行えます。

- ・ 開始日時の変更
- ・ 実行方法の指定
※初期値は「デバイス管理」(P. 27) で設定されます
- ・ [削除]をクリックすると、スケジュールからこのジョブを削除します。



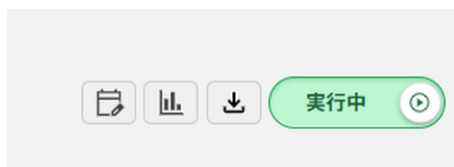
自動実行する

作成したスケジュールをもとに、自動的にジョブを実行して出力できます。



- ・ 実行前に、対象のデバイスと、登録されているRasterLink8を起動してください。

スケジュール画面の各デバイスの右上にある「実行中/停止中」トグルボタンを[実行中]にすることで、スケジュールに沿って自動実行します。



重要! 開始時間に次のいずれかの状態の場合、そのジョブの実行はエラーとなり、スキップされます。

- ・ 対象のデバイスが起動していない。
- ・ 対象のデバイスが登録されているRasterLink8が起動していない。
- ・ デバイスに搭載されているインクまたはメディアの残量が、予測量よりも足りない。

重要! ・ フラットベッド機の場合は、必ず本体の「ワークチェンジ」の設定をオンにしてください。オフの場合、意図しないタイミングで印刷が開始される恐れがあります。

重要! ・ 開始時間になっても、前のジョブが実行されている場合、そのジョブが終了した後に開始されます。

- ・ 予定時間を通りではなく、前のジョブが印刷し終わったら続けて出力することもできます。下記の「スケジュール・自動実行のオプション」をご覧ください。

QRコードを使ってスケジュールを手動実行する

作成したスケジュールをPDFファイルに保存し、ファイルに記載のQRコードをバーコードスキャナーで読み込むことで実行します。

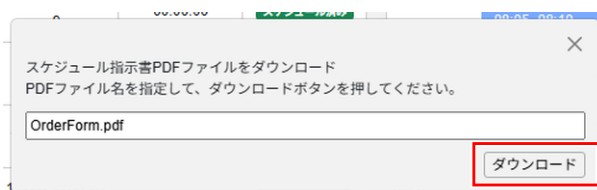
バーコードスキャナーとPCの準備

バーコードスキャナーと、それを接続するWindows PCを用意してください。

- バーコードスキャナー
 - 詳細は「セットアップガイド」をご覧ください。
- バーコードスキャナーを接続するWindows PC
 - RasterLink8がインストールされていないPCでも、クライアントツールをセットアップすれば、バーコードをスキャンできます。
 - PCにクライアントツールをインストールし、サーバーに接続できるようにセットアップしてください。

スケジュールをPDFに保存する

- 1 対象のデバイスのデバイス編集画面を開きます。
- 2 スケジュールを作成します。
- 3 作成後、画面右上の[]（スケジュール指示書PDFをダウンロード）アイコンをクリックします。
- 4 ダウンロードファイル名の設定画面が表示されます。ファイル名を入力し、[ダウンロード]をクリックします。



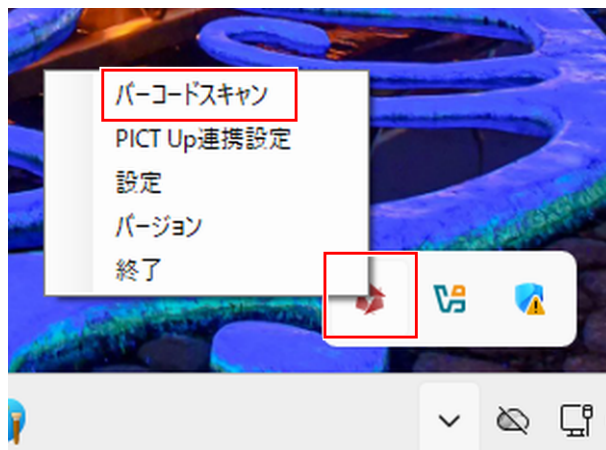
- 5 ブラウザ規定のダウンロードフォルダーに、PDFが保存されます。

スケジュール指示書のQRコードを読んで実行する

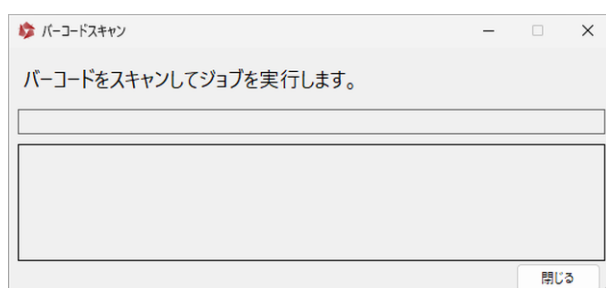
重要! ・ 実行前に対象のデバイスと登録されているRasterLinkを起動してください。

- 1 バーコードスキャナーを接続したPCのタスクトレイをクリックします。

- 2 クライアントツールのアイコンを右クリックし、メニューから[バーコードスキャン]をクリックします。



- 3 [バーコードスキャン]画面が表示されます。



4 スケジュール指示書の、印刷したいジョブのQRコードを読み取ります。

発行日時: 2026/07/13 20:07:15

予約指示書

出力条件

PC / デバイス	WIN11JP / CJV200
総サイズ	1.61 x 2.14 mm
予約日	2026/07/14 08:00

ジョブ

ID	ジョブ名	サムネイル	出力回数	QRコード	情報
	[YELLOW]Lady_01.eps		1		1.61 x 1.07 mm
	[RED]Lady_01.eps		1		1.61 x 1.07 mm

- ・ スキャンした情報がサーバーに送信され、該当のRasterLink8に実行が指示されます。
- ・ 指示が成功すると、そのジョブの情報が表示されます。
- ・ 実行指示が失敗した場合は、エラーが表示されます。
- ・ 成功した場合

バーコードスキャン

実行指示に成功しました。

	指示日時: 2026/08/24 18:37:27 コード: **MWS:S:0001:S01_20260824175346548 実行指示に成功しました。 ジョブ名: [RED]Lady_02.eps PC/デバイス: YZ-K032/JV200 8Colors
	指示日時: 2026/08/24 18:37:14 コード: **MWS:S:0001:S01_20260824175346328 実行指示に成功しました。 ジョブ名: [RED]Lady_01.eps PC/デバイス: YZ-K032/JV200 8Colors

閉じる

- ・ すでにRasterLinkから削除されたジョブを実行しようとした場合

指定されたジョブは RasterLink ジョブマネージメントサービス サーバー上に存在しません。

	指示日時: 2026/08/24 18:39:16 コード: **MWS:S:0001:S01_20260824175347363 指定されたジョブは RasterLink ジョブマネージメントサービス サーバー上に存在しません。
---	---

重要! ・ バーコードスキャナーはキーボードエミュレートで動作します。そのため、本機能の使用時に他のアプリでキーボードから文字を入力した場合は、その内容がクライアントツールに入力されます。

重要! 最初の実行処理の終了を待ってから次のQRコードの読み取りを実行してください。

- ・ 連続して同じQRコードを読み取った場合、画面上では全て成功したと表示されますが、RasterLink8で「実行中のジョブに対して操作できません」とメッセージが表示され、実行されないことがあります。

ユーザージョブIDをQRコード化し、スキャンして実行する

RasterLinkジョブマネージメントサービスで提供する以下の機能を用いてジョブを作成した際、「ユーザージョブID」という任意の文字列をジョブ情報に含めることができます。このユーザージョブIDをQRコード化したものをスキャンすることでジョブが実行できます。

● 対象機能

- ジョブ作成Web(JobMaker)
- CSVコネクター

各機能でのユーザージョブIDの設定については、各々のリファレンスガイドをご覧ください。

重要!

- ユーザージョブIDは半角英数記号のみを使用してください。
- ユーザージョブIDをそのままQRコード化してください。
- QRコードをスキャンした時のジョブの実行方法はデバイス管理の詳細設定（ [P. 25](#)）にて指定します。

スケジュール・実行のオプション

デバイスごとにスケジュールと自動実行に関する設定が行えます。

● 設定

- 1 画面左上の「デバイス管理」ボタンをクリックします。
- 2 設定するデバイスの「」ボタンをクリックします。



- 3 詳細設定画面が開きます。



- 連続モード
 - ONの場合：自動実行時に、先に実行されたジョブが予定よりも早く終了した場合、予定開始時間を待たずに次のジョブを実行します。
 - OFFの場合：予定通りの時間で開始します。
- ジョブ実行間隔

スケジュール作成画面で複数のジョブを選択し、タイムラインヘドドラッグアンドドロップした際に、指定した時間ジョブとジョブの間が空きます。
- 実行方法
 - 自動実行およびスケジュールをPDFに保存し、そのQRコードで手動実行する際の実行方法の初期値として設定されます（ジョブ毎に実行方法は変更できます（[P. 19](#)））
 - ユーザージョブIDをQRコード化して手動実行する（[P. 21](#)）際の実行方法となります。

2.4 デバイス確認

デバイスに設置したカメラが撮影した静止画を表示します。

- 重要!** • 本機能は、「Mimaki Cloud Technology PICT」（以下「PICT」）のカメラストリーミング機能を使用している場合に有効になります。

このほか、PICTと連携した機能については  「Mimaki Cloud Technology PICTと連携する」（P. 41）をご覧ください。

● 設定

- 1 PICTのクライアントアプリである「PICT Up」がインストールされ、かつカメラが接続されているPCに、クライアントツールをインストールし、サーバーに接続できるようにセットアップします。（セットアップ方法は「セットアップガイド」を確認してください。）
 - セットアップ後、クライアントツールがPICT Upを認識すると、タスクトレイ上のクライアントツールのアイコンにマウスをあてたときに、認識状態が表示されます。



- 2 タスクトレイ上のクライアントツールのアイコンを右クリックし、メニューから[PICT Up連携設定]を選択します。
- 3 設定画面が表示されます。[プリンター静止画像をRasterLinkジョブマネージメントサービスへアップロードする]チェックボックスをオンにします。



ブラウザでの表示

PICT Upの設定でカメラストリーミング機能が有効になっている場合、静止画像がアップロードされ、デバイスごとに表示されます。

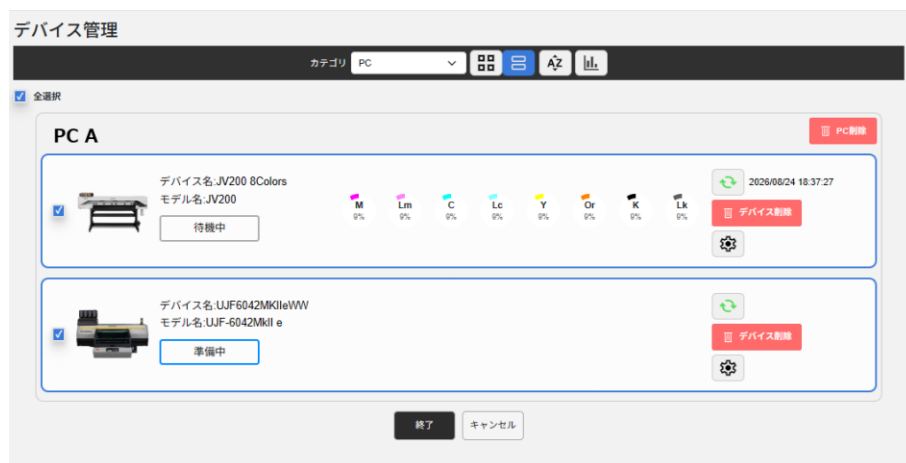


- 静止画は、約1分間隔で撮影されます。
- 指定期間を超えると、画像は自動的に削除されます。期間については、  「オプション」（P. 34）をご覧ください。

デバイス管理

ジョブ管理サーバーで管理しているデバイスとそれらが登録されているRasterLink PCの一覧を表示します。

メイン画面の左上の「デバイス管理」ボタンを押します。



機能

● デバイスの表示切替

デバイスごとにあるチェックボックスをON/OFFして、メイン画面に表示するデバイスを切り替えます。この設定はログインアカウントごとに保存されます。

● PCやデバイスの削除

管理していたPCやデバイスをジョブ管理から削除します。

管理から外したい場合は、物理的にネットワークから切り離すか、PCからクライアントツールをアンインストール後に本機能を実行してください。

● 設定（歯車ボタン）

スケジュールの設定を行います。詳しくは🔍「スケジュール・実行のオプション」（P. 25）をご覧ください。

第3章 その他の機能



この章では...

チャットサービスへの通知やテキストデータの定期保存などを説明します。

チャットサービスに通知する.....	30	ユーザーアカウント	36
対応サービス.....	30	ユーザーアカウントの追加	36
Webhook URLを発行する.....	30	アカウントの削除	38
システムに取得したWebhook URLを設定す る.....	31	パスワードの変更	38
テキストデータを定期的にサーバーに保存する	32	Mimaki Cloud Technology PICTと連携する	41
保存できるデータと保存先	32	PICTアカウントでログイン	41
設定	33	PICT Upとクライアントツールを同じPCに インストールし、連携させる	41
オプション.....	34	PICT連携 こんなときには	42
表示の切り替え	34	各機能のリミット値	43

3.1 チャットサービスに通知する

出力の開始、終了、エラーを、チャットサービスに通知できます。設定は、ログインアカウントごとに行います。

対応サービス

- Microsoft Teams
- Slack

Webhook URLを発行する

各サービスでWebhook URLを発行し、本システムに設定します。

重要! • 本手順は、2026年8月時点での設定方法です。

Microsoft Teamsの場合

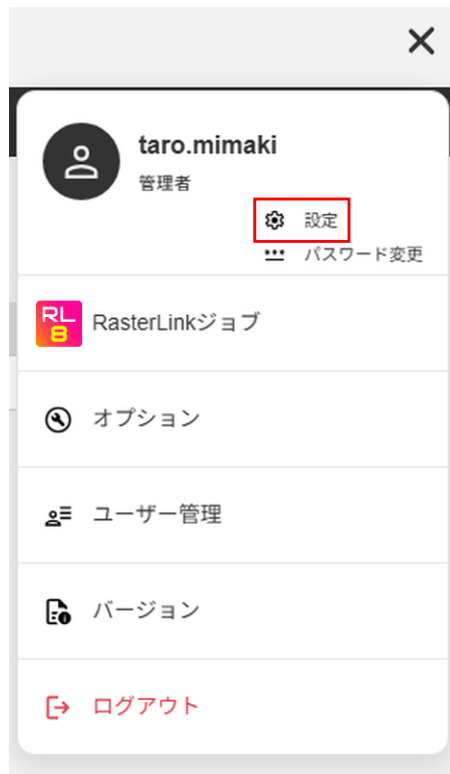
- 1 Microsoft Teamsを起動し、通知を投稿したいチャンネルを開きます。
- 2 対象チャンネルの[・・・（その他のオプション）]をクリックし、[ワークフロー]を選択します。
- 3 検索欄で「Webhook」を検索し、[Webhook要求を受信するとチャンネルに投稿する]（または類似名称のテンプレート）を選択します。
- 4 ワークフロー名、投稿先チーム、投稿先チャンネルを設定し、[ワークフローの追加]をクリックします。
- 5 ワークフローの作成完了後、Webhook URLが表示されます。[URLをコピー]をクリックして、Webhook URLを取得します。

Slackの場合

- 1 <https://api.slack.com/apps> にアクセスし、[Create New App]をクリックします。
- 2 [From scratch]を選択し、App Name（任意のアプリ名）とWorkspace（対象のSlackワークスペース）を入力し、[Create App]をクリックします。
- 3 左メニューの[Incoming Webhooks]を選択し、[Activate Incoming Webhooks]をオンに変更します。
- 4 画面下部の[Add New Webhook to Workspace]をクリックします。
- 5 メッセージを投稿したいチャンネルを選択し、[許可する]をクリックします。
- 6 Webhookの作成後、[Webhook URLs for Your Workspace]にURLが表示されます。[Copy]をクリックして、URLを取得します。

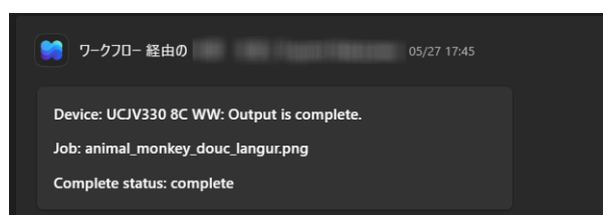
システムに取得したWebhook URLを設定する

- 1 画面右上の[≡]メニューをクリックし、[設定]を選択します。



- 2 ユーザーオプション設定画面が開きます。[チャットサービス連携]欄の該当するサービスの欄に、発行したURLを入力します。また、通知する内容を[エラー]、[出力開始]、[出力終了]から選択します。

例) Microsoft teamsへの出力終了通知は以下のようになります。



3.2 テキストデータを定期的にサーバーに保存する

Webサーバーの所定のフォルダーに、各種情報を定期的にテキストとして保存できます。

保存できるデータと保存先

● 保存先

ファイルは、Webサーバーの次のフォルダーに種類ごとに保存されます。

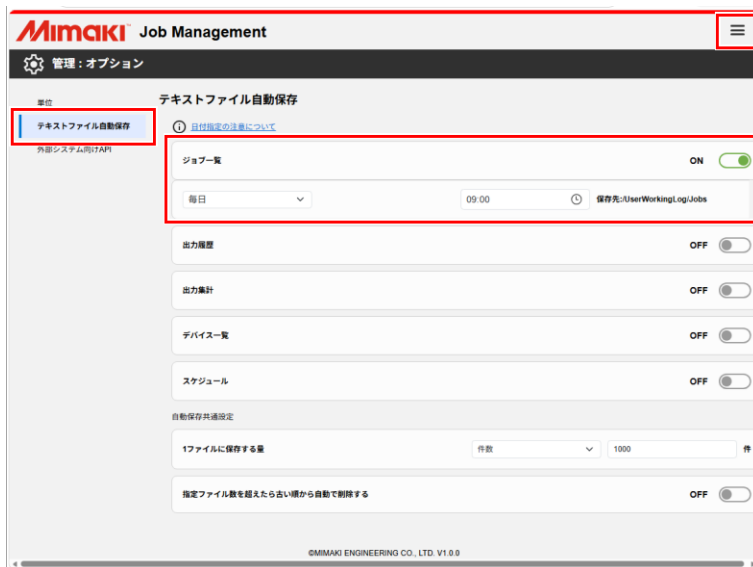
「C:\RLJobManagement\pubdata\UserWorkingLog」

● 保存できるデータ

データ	保存フォルダ
ジョブ一覧	Jobs
出力履歴	OutputHistory
出力集計	Totalling
デバイス一覧	Devices
スケジュール	Schedule

設定

- 1 画面右上の[≡]メニューをクリックし、[オプション]を選択します。
- 2 オプション画面が開きます。左のリストから[テキストファイル自動保存]をクリックします。
- 3 テキストファイル自動保存画面が表示されます。保存したい項目をオンにします。オンにすると、保存周期を設定できます。
 - 毎日：毎日指定時間に保存します。保存範囲は前日から1日分です。
 - 毎週：毎週指定曜日、指定時間に保存します。保存範囲は前週から一週間分です。
 - 毎月：毎月指定日、指定時間に保存します。保存範囲は前月から一か月分です。



- 4 必要に応じて、以下の設定を行ないます（全データ共通）。
 - 1ファイルに保存できる量：1ファイルに保存できる量を指定した場合、「件数」、「データ容量」より選択し件数/容量を設定します。データを1ファイルに収めたい場合は、「分割しない」を選択します。
 - 指定ファイル数を超えたら古い順から自動で削除する：ONにすると、フォルダ内のファイルが指定個数に達すると、古い順から自動的に削除します。

3.3 オプション

表示の切り替え

表示の切り替えを説明します。

ユーザーごとの設定

言語、フォントサイズ、テーマを設定できます。

- 1 画面右上の[≡]メニューをクリックし、[設定]を選択します。

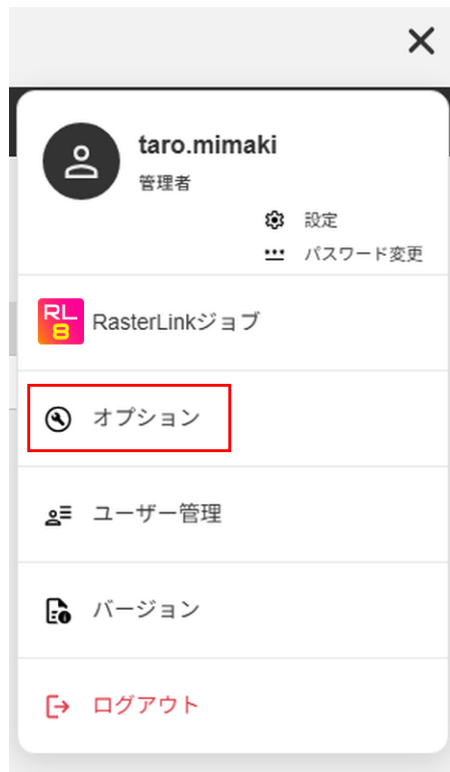


- 2 ユーザーオプション設定画面が開きます。言語、フォントサイズ、テーマ、「チャットサービス連携」について変更できます。

全体設定

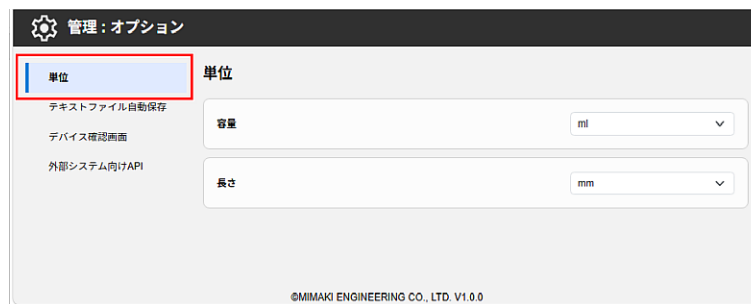
単位を設定できます。

- 1 画面右上の[≡]メニューをクリックし、[オプション]を選択します。



- 2 オプション画面が開きます。左のリストから[単位]をクリックします。

- 容量と長さの単位を設定できます。



3.4 ユーザーアカウント

各種機能を使うためには、アカウント登録が必要です。画面右上の[≡]メニューをクリックし、[ユーザー管理]を選択すると、ユーザー管理画面が開きます。



ユーザーアカウントの追加

- 1 画面左上の[ユーザー追加]をクリックします。



- 2 [新しいアカウント作成]画面が開きます。表示名とアカウントIDを入力し、ユーザー権限を選択して、[登録]をクリックします。

新しいアカウント作成

表示名
例: 山田 太郎

ユーザーID
例: yamada.taro

権限
管理者 ▼

登録

キャンセル

- 3 ユーザーが登録されます。新規登録されたユーザーは、状態が[新規アカウント]となります。この後、ログインすると[登録済み]となります。

管理: ユーザー管理

ユーザー管理

ユーザー追加

表示名	ログイン名	ユーザー状態	権限	
田村太郎	taro_mimaki	登録済みアカウント	管理者 ▼	⋮
東郷 花子	hanako_tomi	新規アカウント	オペレーター ▼	⋮

初回ログイン

新規登録されたユーザーの初回ログイン時は、次のようにしてください。

- 1 [パスワード]にログイン名を入力します。
- 2 ログインすると、パスワード設定画面が表示されます。パスワードを設定します。設定後、システムにログインします。

以後は、設定したパスワードを使ってログインします。

アカウントの削除

- 1 削除したいアカウントをユーザーリストから選択し、右端のアイコンをクリックします。
- 2 表示されたメニューから[アカウント削除]を選択します。
- 3 削除するかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]をクリックすると、アカウントが削除されます。

パスワードの変更

パスワードは、次の2つの方法で変更できます。

ユーザーメニューから変更する

- 1 [≡]メニューをクリックし、メニューから[パスワード変更]を選択します。

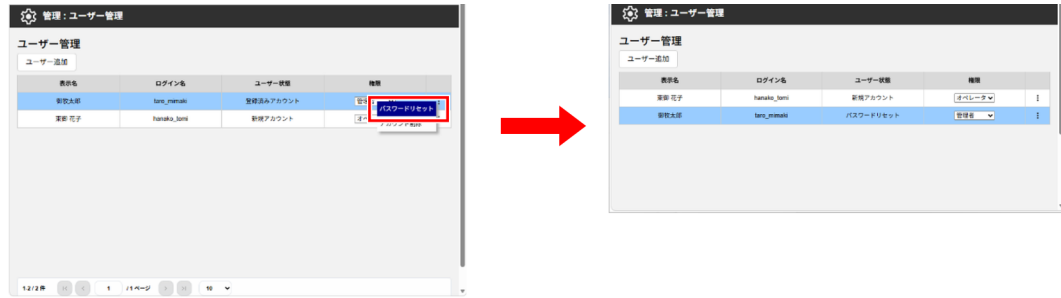


- 2 パスワード変更画面が表示されます。新しいパスワードを入力します。次回ログイン時から、このパスワードでログインします。

ユーザー管理画面でリセットする

- 1 ユーザー管理画面で、パスワードをリセットしたいユーザーを選択し、右側のアイコンをクリックします。

- 2 メニューから[パスワードリセット]を選択します。リセットされたユーザーの状態は[パスワードリセット]となります。

**重要!**

- 次回、このユーザーでログインする際は、初回ログインと同じく、[パスワード]にアカウントIDを入力し、その後パスワードを設定してください。

アカウントの種類による機能の制限

アカウントの種類により、閲覧が制限されている画面は下表のとおりです。

画面	管理者	オペレータ
ジョブ一覧	✓	✓
デバイス管理	✓	
出力履歴	✓	✓
スケジュール	✓	✓
デバイス確認	✓	✓
設定	✓	✓
オプション	✓	
バージョン	✓	✓
ユーザー管理	✓	

3.5 Mimaki Cloud Technology PICTと連携する

Mimaki Cloud Technology PICT(以下PICT)と連携することができます。

PICTアカウントの作成、および機能詳細につきましては以下のミマキWebサイトのPICTのページをご確認ください。

<https://japan.mimaki.com/product/software/remote/pict/>

重要! 事前に以下が必要です。

- PICTアカウントの作成
- PICTのクライアントツール[PICT Up]のインストール
PICT UpをインストールするPCには、RasterLinkジョブマネージメントサービスのクライアントツールもインストールしてください。
- 本システムで管理するデバイスのPICTへ登録

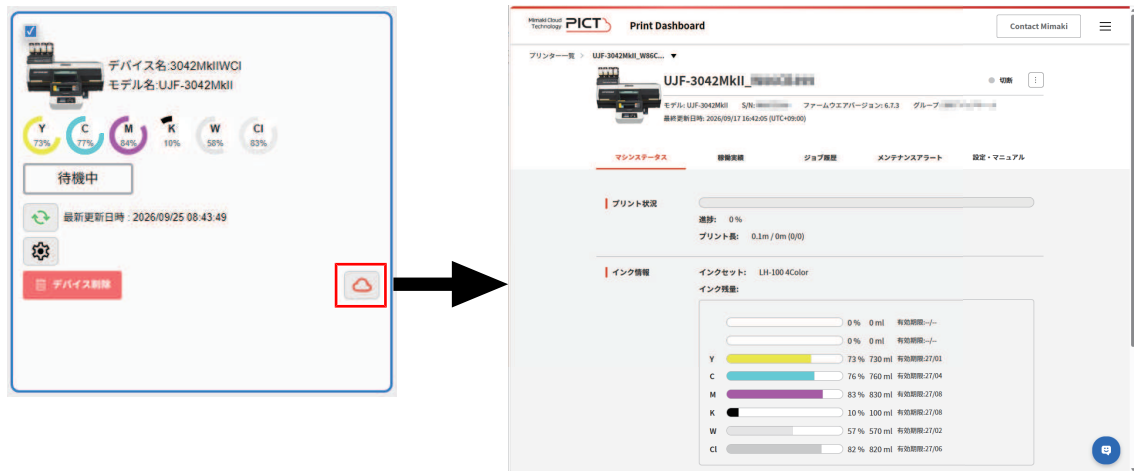
PICTアカウントでログイン



- PICTアカウントを用いてRasterLinkジョブマネージメントサービスにログインすることができます。詳細についてはセットアップガイドをご覧ください。

● PICTのデバイスページへアクセス

本システムが管理しているデバイスが、PICTにも登録されている場合、PICTアカウントを使ってログインすると、デバイス欄に [] ボタンが表示されます。このボタンを押すと、PICTのサイトにアクセスし、このデバイスのページが表示されます。



PICT Upとクライアントツールを同じPCにインストールし、連携させる

PICT Upと同じPCにRasterLinkジョブマネージメントサービスのクライアントツールをインストールすることで、デバイスの情報を本システムと連携できます。

- PICT Upとの連携は自動的に行われます。タスクトレイに常駐するクライアントツールのアイコンにマウスカーソルをのせると、現在連携しているか確認できます。



● PICTの稼働実績を元に出力履歴を表示

「出力履歴」に表示される以下の情報をPICTの稼働実績を元に表示します。

- インク消費量
- メディア消費長
- 印刷時間



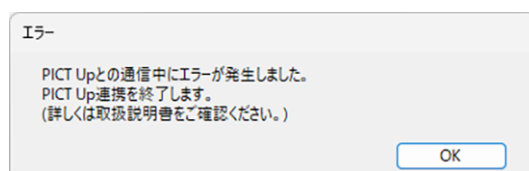
- PICT連携していない場合、RasterLinkの情報を元にこれらを表示します。ジョブ管理画面上では、情報元の区別なく表示します。

● デバイス確認

PICTにてカメラストリーミング機能を使用の場合、ジョブ管理Webにてデバイス画像を表示します。詳しくは  「デバイス確認」(P. 26) をご覧ください。

PICT連携 こんなときには

● クライアントツールから「PICT Upとの通信中にエラーが発生しました」とメッセージが表示される



このメッセージが表示された場合、PICT連携が行われていません。PCを再起動してください。

3.6 各機能のリミット値

機能ごとのリミット値は下表のとおりです。

No.	カテゴリ	項目	最大数
1	全体	登録可能デバイス台数	100台
2	出力履歴	履歴日数	30日間
3	スケジュール	作成可能日数	本日を含め3日間 (今日、明日、 明後日)
4	スケジュール	過去のスケジュールの保存日数	30日間
5	デバイス確認	画像保存日数	3日間

第4章 こんなときは



この章では...

トラブルが起きたときの解消方法や、やり方がわからないときの操作方法などを説明します。

トラブルシューティング	46
表示	46
ジョブの実行	47

スケジュール	47
データダウンロード	47

4.1 トラブルシューティング

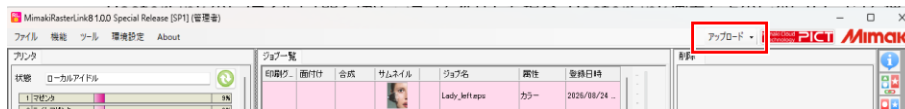
表示

特定のデバイスが表示されない

- デバイスが接続されているPCにRasterLinkとクライアントアプリがインストールされていることを確認してください。
- クライアントアプリの設定を開き、接続先の確認を行ってください。詳しくはセットアップガイドの「クライアントツールの初回セットアップ」の章をご覧ください。
- RasterLinkジョブマネージメントサービスが対応していない機種可能性があります。対応機種については弊社Webサイトをご確認ください。

RasterLinkで作成されたジョブがWeb画面に表示されない

- RasterLinkの[ファイル]-[開く]からジョブを作成した場合、RasterLink画面右上の[アップロード]を押し、手動でジョブ情報をアップロードしてください。



- 上記を行っても表示されない場合、[アップロード]の右の▼部分を押し [すべてアップロード] を押すことで、全てのジョブの情報をアップロードしなおします。



エラー発生時にウェブ画面が操作できなくなる

サーバーアプリケーションがインストールされたPCを再起動してください。

サーバーダウンやRasterLinkPCがネットワークに接続未接続時にジョブが追加された場合

サーバー起動後、各RasterLinkPCにて、[アップロード]の右の▼部分を押し [すべてアップロード] を押し、全てのジョブの情報をアップロードしなおしてください。

デバイス確認で画像が表示されない

該当のデバイスが登録されているPCにPICT Upがインストールされており、カメラストリーミング機能が有効であることを確認してください。詳しくは本書 [デバイス確認] の章を確認してください。

ジョブの実行

Web上からジョブが実行できない

そのジョブが登録されているRasterLinkおよび、対象のデバイスが起動し、印刷可能となっていることを確認してください。

QRコード読み込み、ジョブが実行されない

- バーコードスキャナーがQRコード対応か確認してください。
- バーコードスキャナーのキーボードエミュレートの設定を、バーコードスキャナーを接続しているPCの設定と同じにしてください。

スケジュール

スケジュールが自動実行されない

- スケジュール画面を開き自動実行がONになっていることを確認してください。
- そのジョブが登録されているRasterLinkおよび、対象のデバイスが起動し、印刷可能となっていることを確認してください。

スケジュールの予測時間と大幅にずれがある

- 予測時間を算出する際、対象のデバイスから情報を取得します。そのため、ジョブ作成およびサーバーにアップロードする際には、対象のデバイスがRasterLinkPCに接続され、起動した状態の場合にしてください。算出できなかった場合、スケジュール画面上では一律印刷時間5分として表示します。
- 予測時間には、印刷中のメンテナンス動作（フラッシング等）は考慮されていません。そのため、特に長尺出力においては予測値より実際の印刷時間の方が長めとなります。

データダウンロード

ダウンロードしたデータが文字化けする。

ダウンロードしたテキストファイルが文字化けする

各画面からダウンロード、もしくは定期的にサーバーに保存されるテキストファイルの文字コードはUTF-8となります。UTF-8対応のソフトウェアを用いて開いてください。

RasterLink ジョブマネージメントサービス ジョブ管理Web リファレンスガイド

2026年10月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

